プレスリリース
2026年11月2日
報道関係各位

ダッソー・システムズ、
科学・医療・患者をつなぐ統合 AI プラットフォームで
ライフサイエンス分野の取り組みを新たな段階へ

- **ダッソー・システムズはライフサイエンス分野で重要な一歩を踏み出し、新薬の研究開発の加速、より優れた治療法の開発、より的確な意思決定を通じた人々の生活の向上を支援**
- **ダッソー・システムズはArisGlobalの買収を完了し、治療のライフサイクル全体をつなぐ、AIを基盤としたライフサイエンス業界向け統合プラットフォームの構築に向けて前進**
- **米国退役軍人省およびセールスフォースでの経験を持つアシュウィニ・ゼヌーズが、新設の役職に就任し、この取り組みを主導**

※本リリースは、仏ヴェリジー＝ヴィラクブレーにて現地時間2026年10月28日に発表したリリースの日本語参考訳です。

ダッソー・システムズ（Euronext Paris: FR0014003TT8、DSY.PA）は本日、ArisGlobal の買収を完了し、ライフサイエンスとヘルスケア分野の事業を統合して、科学・医療・患者をつなぐ統合 AI プラットフォームの構築を進めることを発表しました。今回の発表は、新薬の研究開発を加速し、より優れた治療法の提供とより的確な意思決定を支援することで、人々の生活の向上を目指す同社のビジョンをさらに前進させるものです。また、この取り組みを主導するため、アシュウィニ・ゼヌーズがライフサイエンス＆ヘルスケア部門のエグゼクティブ・バイス・プレジデント 兼 部門最高経営責任者に就任しました。

ダッソー・システムズの最高経営責任者（CEO）兼 取締役会会長であるパスカル・ダロズは次のように述べています。
「ライフサイエンス業界はいま、大きな転換点を迎えています。これまで、創薬、臨床開発、製造、患者の治療アウトカムはそれぞれ独立した領域として扱われ、各段階で得られる知見がほかの段階に十分に生かされてきませんでした。今回、私たちはこの状況を変えるための重要な一歩を踏み出します。現在、私たちのライフサイエンス分野の製品群は、3D UNIV+RSES（3D ユニバース）に集約されています。これは、創薬から学習・改善を繰り返すプロセスを通じて、医薬品のライフサイクル全体をつなぐ、AI を基盤とした企業向けプラットフォームです。

各段階が相互に連携し、知見を共有し合うことで、すべての段階の価値が高まります。科学モデルはより高度になり、臨床試験ではより多くの知見の活用が可能になり、医薬品の製造ではより柔軟な対応が可能になります。そして、患者の治療アウトカムから得られる知見が、将来のイノベーションを継続的に改善していきます」

ダッソー・システムズは、ArisGlobal の買収を完了し、買収額は決済時点で現金18億米ドルでした。さらに、AI 関連の収益に関する複数年の目標達成に応じて、最大2億米ドルの追加対価が支払われる可能性があります。ArisGlobal の AI を基盤としたプラットフォームは、薬事規制対応、安全性情報管理、品質管理、メディカルアフェアーズに関する情報を一元的に管理する「信頼できる唯一の情報源（Single Source of Truth）」として機能しており、世界のバイオ医薬品企業上位50社のうち半数を含む200社以上が利用しています。ArisGlobal は引き続き、アマン・ワサンが最高経営責任者（CEO）として率い、BIOVIA および MEDIDATA とともに、ダッソー・システムズのライフサイエンス＆ヘルスケア部門の重要な一翼を担います。

今回の買収により、ダッソー・システムズは事業領域をさらに拡大し、科学的研究・創薬、臨床開発、製造、そして実臨床における患者アウトカムをつなぐ、AI を基盤とした統合プラットフォームの構築を進めます。ダッソー・システムズは、AI を科学的知見、バーチャルツイン、そして3D UNIV+RSES における深い専門知識と組み合わせることで、AI がデータを適切に理解・活用できる環境を整え、具体的な行動や意思決定に役立つ知見を引き出します。

この取り組みを主導するため、ダッソー・システムズは、新設したライフサイエンス＆ヘルスケア部門のエグゼクティブ・バイス・プレジデント 兼 部門最高経営責任者にアシュウィニ・ゼヌーズを任命し、ゼヌーズを執行委員会のメンバーに選任しました。ゼヌーズはパスカル・ダロズの直属となります。

ゼヌーズは、MEDIDATA、BIOVIA、および ArisGlobal を統括し、戦略、事業統合、市場投入戦略、営業に加え、製薬、バイオテクノロジー、医療機器、診断、デジタルヘルスの各分野における戦略的パートナーシップを担当します。業界全体が複雑な課題をより深く理解し、イノベーションを加速させ、バリューチェーン全体でより的確な意思決定を行えるよう、新たなプラットフォームの活用を推進していきます。

医師、テクノロジー分野のリーダー、起業家という独自の経歴を持つゼヌーズは、セールスフォース、コミュア（Commure）、米国退役軍人省で要職を歴任し、遠隔医療、精密医療、メンタルヘルス、AI の実用化に関する豊富な専門知識を有しています。また、専門研修を修了した放射線科医でもあり、現在も米国カリフォルニア州の医師免許を保持しています。フロリダ大学の短期集中型 Medical Honors プログラムで、理学士号と医学博士号を取得しました。

ダッソー・システムズは10年以上にわたり、ライフサイエンス＆ヘルスケア分野で事業を展開し、技術や専門知識を蓄積するとともに、お客様との関係性を築き、業界への理解を深めてきました。BIOVIA は、科学分野におけるモデリングおよびシミュレーションを先駆けて推進し、MEDIDATA は、4万2,000件の臨床試験と1,300万人の患者を支え、臨床開発のあり方を変革してきました。また、産業分野で培った知見を生かし、製造や事業運営にもバーチャルツインを導入してきました。2020年、ダッソー・システムズは、バーチャルツインの力を「モノ」の世

界から「生命」の世界へと広げる構想を発表しました。生命科学、材料科学、情報科学を融合し、3DEXPERIENCE プラットフォーム上で、さまざまな条件を設定してシミュレーションや予測を行える、生命現象を包括的に捉えるバーチャルモデルの実現を目指しています。

（以上）

ダッソー・システムズの3DEXPERIENCE プラットフォーム、3次元設計のソフトウェア、3Dデジタル・モックアップ、プロダクト・ライフサイクル・マネジメント（PLM）ソリューション等について、詳しくはホームページをご覧ください。

ダッソー・システムズとつながるソーシャル･アカウント
Facebook LinkedIn YouTube

ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは、人類の進歩を促進する役割を担う企業です。1981年の設立以来、同社はバーチャル世界を開拓し、消費者、患者、市民などすべての人々の現実世界をより良い方向へと導いてきました。ダッソー・システムズのエージェンティックな3DEXPERIENCE プラットフォームでは、AI を搭載した科学的根拠に基づくバーチャルツインにより、あらゆる規模・業界の39万のお客様が協力し、製品やサービスを創出、製造することで持続可能な革新を生み出し、社会に対して意義のある影響をもたらすことができます。より詳細な情報はホームページ、https://www.3ds.com/ja/（日本語）、https://www.3ds.com/（英語）をご参照ください。

報道関係者お問い合わせ先：
ダッソー・システムズ株式会社　広報　山口令奈
E-mail:　reina.yamaguchi@3ds.com
TEL:　03-4321-6650

ダッソー・システムズ株式会社　広報代理
ホフマンジャパン株式会社
E-mail:　3DS_PR_JP@hoffman.com
TEL:　03-5159-5750
FAX:　03-5159-2166